

藤井武彦 議員



(一般質問)

- 1 教育現場における熱中症対策について
- 2 西条市地下水保全管理計画について
- 3 市指定避難所の防災機能について

食の安全・安心のために 周桑平野の水質保全を！

問 周桑平野の地下水は、硝酸態窒素濃度が高いと報告されているが、施肥体系の最適化に向け、どのように検討を進めるのか。また、化学肥料や農薬の使用などによる環境負荷の軽減に配慮した環境保全型農業について、今後どのように推進するのか。

答 周桑平野の地下水の水質を調査した結果、ほとんどの観測地点で水道水の

水質基準を満たしているが、硝酸態窒素濃度は、西条平野と比べ高い傾向にあることが判明した。よって、愛媛大学、JA周桑、JA東予園芸と連携し、営農活動と地下水の硝酸態窒素濃度との関係性の解明や改善技術の確立に向けた共同研究を行い、周桑平野の果樹農家を対象に土壌分析とヒアリング調査を行った。結果、ほとんどの土壌で窒素、リン、カリウムなどが過剰施用されていることや、土壌特性として保肥力が低いことが明らかとなったため、平成30年10月から土壌や施肥管理の改善に向け、営農指導員に対して、調査結果を報告するとともに、意見を聴取する予定



周桑平野

である。また、本市では、環境保全型農業の推進を図るため、化学肥料や化学合成農薬の使用を地域の慣行から低減する活動や有機農業の取組に対する支援も行っているところである。

なお、現在、(仮称)地下水保全協議会の設立に向け準備を進めているところであり、硝酸態窒素対策についても、本協議会の中で、協議・検討することとしている。

高橋 保 議員



(一般質問)

- 1 カラーユニバーサルデザインの推進について

多様な色覚に配慮した 社会の実現に向けて

問 色覚の多様性に配慮し、より多くの人が利用しやすい配色を行う考え方を力

ラーユニバーサルデザインというが、市は、色弱者への配慮として、どのような取組を行っているのか。

また、職員のカラーユニバーサルデザインに対する理解はどのようなものか。

更に、教育現場では、どのように色覚検査を実施し、色弱の児童・生徒に対して、どのような配慮を行っているのか。

答

本市では、住民票などの色分けされた各種申請用紙に色名を明記しているほか、広報紙の文字に縁取りを施すなど、色弱者が見やすく読みやすい配慮を行っている。また、ホームページでは、色弱者が色を見分けやすいよう、背景色や文字の大きさを変更できるシステムを採用している。

職員のカラーユニバーサルデザインに対する理解については、進んでいると考えるが、今後も意識の醸成に努めたい。

教育現場では、希望がある家庭の児童・生徒に対し色覚検査を実施するとともに、教職員に対して色覚に関する研

修を行っている。研修によって、誰もが見やすく分かりやすい黒板の書き方や掲示方法の工夫を行っており、授業のカラーユニバーサルデザイン化に努めている。

教材に関しては、全てカラーユニバーサルデザインに配慮した教科書を採用するとともに、電子黒板もカラーユニバーサルデザインの機能があるものを採用している。また、小学校3校、中学校1校で色覚チェックを使用しているが見え方の特性に関わらず児童・生徒から分かりやすいとの感想を得ていることから、今後、全ての小・中学校に導入していきたい。

印鑑登録証明書交付申請書	
西条市長 殿	平成 年 月 日
必要印鑑登録を提出してください。裏印は不要です。	登録番号
住所	戸籍事項証明書等の請求
登録者本人	必要枚数
ふりがな氏名	西条市長 殿
生年月日	請求者 住所 (電話番号)
代理人	請求者 住所 (電話番号)
ふりがな氏名	住民票等交付申請書
生年月日	西条市長 殿
	請求者 住所 (電話番号)

色名を明記した各種申請用紙